

21. 國際的影響力がある主要な環境 NGO¹

	NGO 名	働きかけの立場	国際的枠組み作り、地球環境保全面での貢献と影響力
1	Basel Action Network (BAN)	・バーゼル条約締約国会議及び付属機関会議における常任オブザーバー	・バーゼル条約の批准と実施の促進
2	Climate Action Network (CAN)	・気候変動枠組み条約の国連交渉におけるオブザーバー	・気候変動枠組条約の実施支援 ・温室効果ガス削減のため国、地方レベルで法制度化促進
3	Consumers International (CI)	・IAEA、国連経済社会理事会(ECOSOC)、UNESCO、FAO、WHO、UNICEF、UNIDO、ISO、国際民間航空機関(IAO)の諮問機関	・消費者の懸念を反映する政策を国際的な場で推進
4	Earth Council	・ECOSOC の公認団体。	・貧困対策、持続的社會に関する価値観の経済政策への反映を目指す
5	Earthwatch Institute	・IUCN の諮問機関	・自然資源、文化遺産の保全推進
6	Environmental Liaison Centre International (ELCI)	・CSD、UNEP、FAO、ECOSOC の諮問機関。 ・砂漠化問題に関する政府間交渉理事会(CCD)、生物の多様性に関する条約締約国会議(CDB)、モントリオール議定書、国連人間住居委員会(UNCHS)、UNESCO、他の公認団体。 ・市民参加と意識啓蒙を重視。	・世界の環境 NGO のネットワーク化 ・2002 年ヨハネスブルグサミット、他の国際会議における NGO 参加の促進
7	European Environmental Bureau (EEB)	・欧洲理事会、国連の諮問機関。 ・EU 委員会、欧洲議会、EU 理事会、欧洲经济社会理事会、欧洲環境連盟、OECD と協力。	・EU 諸国と EU 加盟予定国における EU 環境基準適用の推進
8	Forest Stewardship Council (FSC)	・非営利団体。会員は環境団体、森林・材木産業、コミュニティ、森林製品認証組織、個人。	・各国の森林製品認証組織の評価、認定により認証システムの信頼性を高める

¹ 23 の主要な国際環境 NGO の選択基準は次のとおり:会員を持つ組織である、複数国で活動している、常設の組織である、主要な活動が環境分野に集中している、政府から独立している(IUCN を除く)、財団や研究機関ではない。情報源:Green Year Book。

	NGO 名	働きかけの立場	国際的枠組み作り、 地球環境保全面での 貢献と影響力
9	Friends of the Earth International (FoEI)	<ul style="list-style-type: none"> FAO、IMO、1972 年ロンドン会議、国際油濁補償基金、バルセロナ会議、IWC、ラムサール会議、ITTA でのオブザーバー。 UNESCO、ECOSOC、UNECE の諮問機関。 IAEA、IPCC、モントリオール議定書その他に出席。ELCI と IUCN 会員。 	<ul style="list-style-type: none"> 100 万人の個人会員の支持を背景とし、環境、消費、人権のそれぞれの団体と連携し、持続可能でない経済活動に対する反対圧力をかける。
10	Greenpeace International	<ul style="list-style-type: none"> ECOSOC の諮問機関。 30 以上の環境関係国際・地域機関の公認団体。 	<ul style="list-style-type: none"> 280 万人の支持者を得て、生物保護推進。それに脅威を与える活動への世界的反対活動
11	International Chamber of Commerce (ICC)	<ul style="list-style-type: none"> 国連と国連関連機関の主席諮問機関 	<ul style="list-style-type: none"> 世界最大の産業団体 ヨハネスブルグ会議に参加
12	International Confederation of Free Trade Unions (ICFTU)	<ul style="list-style-type: none"> 国連の諸機関の諮問機関。 ECOSOC、ILO、IMF、UNESCO、IAEA、世界銀行、WTO、WHO の公認団体。 	<ul style="list-style-type: none"> ICFTU 加盟団体は 140 國の 231 団体。1 億 5,800 万人の労働者を代表する。
13	International Organization for Standardization (ISO)	<ul style="list-style-type: none"> IEC(国際電気技術委員会)および WTO(世界貿易機構)の協力機関。 	<ul style="list-style-type: none"> 製品、生産管理に関する国際規格を設定。 企業の環境管理努力を推進。
14	International Solar Energy Society (ISES)	<ul style="list-style-type: none"> UNESCO の諮問機関。ECOSOC の(カテゴリーC)諮問機関。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの開発と普及の促進
15	IUCN—The World Conservation Union	<ul style="list-style-type: none"> 国連内に組織された多国政府間組織であるが NGO でもある。 国連のオブザーバー。ECOSOC、FAO、IMO、UNESCO の諮問機関。 	<ul style="list-style-type: none"> IUCN のレッドブック(絶滅危惧種のリスト)は世界的に参照され、関連条約に反映されている。
16	Pesticide Action Network (PAN)	<ul style="list-style-type: none"> 600 の NGO の連合組織 それぞれ独立している 5 つの地域センターを有す。 	<ul style="list-style-type: none"> 農薬の使用停止と代替農法普及に貢献
17	Sierra Club	<ul style="list-style-type: none"> 米国とカナダで活動する NGO ECOSOC の諮問機関。IWC のオブザーバー。IUCN と FSC の会員。 	
18	Society of International Development (SID)	<ul style="list-style-type: none"> ECOSOC の(カテゴリー類)諮問機関。UNESCO、FAO、ILO、IFAD、UNEP、UNFPA、UNICEF、UNCTAD、歐州委員会の諮問機関。 	

	NGO 名	働きかけの立場	国際的枠組み作り、 地球環境保全面での 貢献と影響力
19	Third World Network (TWN)	• UNCTAD、ECOSOC の諮問機関。 • CSD の公認団体。	
20	Water Environment Federation (WEF)	• ECOSOC の諮問機関。	• 環境の法律、基準について検討、答申する。
21	Women's Environment and Development Organization (WEDO)	• ECOSOC と国連広報部門の諮問機関。	
22	World Business Council for Sustainable Development (WBCSD)	• 会員組織。ICC と協力関係。ジュネーブとニューヨークの国連事務局の公認団体。	
23	World Wide Fund for Nature (WWF)	• ECOSOC の(カテゴリー一類)諮問機関。 • 500 万人の支持者	• 債務・自然保護スワップを提唱し、中南米、アフリカで関係者により実施された。

出典: The Fridtjof Nansen Institute "Yearbook of International cooperation on Environment and Development" <http://www.greenyearbook.org/ngo/ngo-ind.htm> に基づき作成

このほか、アジアの NGO として、中国の北京地球村、AANEA などもある。

	NGO 名	働きかけの立場	国際的枠組み作り、 地球環境保全面での 貢献と影響力
1	北京地球村	• GEF の地域 NGO フォーカルポイント	• 国際機関、中国政府、中国の NGO の連携
2	AANEA	• 東アジア 7 力国・地域(日本、韓国、中国、台湾、香港、モンゴル、極東ロシア)のネットワーク	• 民間レベルでの東アジアの環境問題への協力体制の構築(現在は大気汚染問題のみ対応)